



学校だより



令和4年11月25日
宇和島市立立間小学校

11月5日は『津波防災の日』でした

校長 坂本 新一郎

平成23年の東日本大震災では、東北地方の太平洋沿岸を襲った津波によって多くの人命が失われました。この出来事を教訓とし、津波から国民の生命を守ることを目的に「津波対策の推進に関する法律」が制定され、その中で毎年11月5日が「津波防災の日」と定められました。ちなみに11月5日は、江戸時代の嘉永7年(1854年)の安政南海地震(M8.4)で大津波が和歌山県を襲った際に、稲に火を付けて、暗闇の中で逃げ遅れていた人々を高台に避難させて命を救った「稲むらの火」の逸話にちなんだ日です。

愛媛県が公表している南海トラフ地震の被害想定では、宇和島市は市の南側で「震度6弱」が、市の北側で「震度6強」が想定されており、吉田地区の一部では「震度7」の揺れが発生する可能性があることと示されています。津波に関しては、吉田港には1.0mの津波が54分程度で、6.0mの最大津波が165分程度で到達すると想定されています。立間地区は津波災害警戒区域には指定されていませんが、想定外の規模の津波が川を遡上してきた場合、避難行動が困難になることも考えられます。立間小学校では「想定にとらわれず、自分の命を守ることに主体性を持って行動できる力」の育成に取り組んでいます。判断の遅れが命にかかわってくることもあります。防災さんぽや防災マップ作り、避難訓練等を通して、主体的な判断と行動ができる児童を育てていきます。

学習発表会「立間に響け！みんなの笑顔と輝く音色」

11月20日(日)に学習発表会を行いました。感染症対策を講じながら、3年ぶりに地域の方々も招待しました。第1部は、日頃の学習活動の成果を元気いっぱい発表しました。第2部は、全校で心を込めて器楽発表を行いました。少ない練習期間でしたが、学年に応じた表現力のすばらしさ、発表態度の立派さを感じることができました。御観覧の皆様にも立間っ子の元気な姿が届いたと思います。



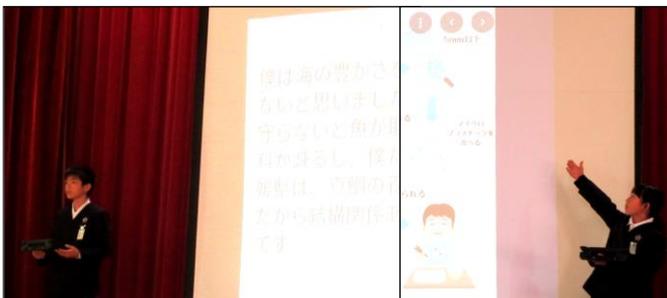
1年「おおきなかぶ」



2・3年「わくわく算数」



4年「立間の鹿の子」



5・6年「みんなで考えようSDGs」



全校合奏

児童引渡し訓練

学習発表会後に児童引渡し訓練を行いました。

まずは避難訓練。地震を想定し、初期行動を取った後、運動場に集合しました。その後垂直避難で2階に避難します。校舎内外の安全を確認後、メールを送信し、保護者に児童たちを引き渡しました。

